

外国語科 年間指導計画

教科	科目	単位数	学年	集団
外国語	英語コミュニケーションⅡ	4	2年	

使用教材名	LANDMARK English Communication II (啓林館)、ワークブック、サブノート、Keys to Listening (数研出版)、Reading Forward Blue (エミル出版)、Applause vol.2、LEAP (数研出版)
-------	---

科目の目標

英語学習の特質を踏まえ、聞くこと、読むこと、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、学習指導要領第1款の(1)及び(2)に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、第1款の(3)に示す資質・能力を育成する。

評価の観点とその趣旨

知識・技能	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。
思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。
主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

指導と評価の計画 (領域：L=Listening, R=Reading, I=Spoken Interaction, P=Spoken Production, W=Writing)

時期	単元	CAN-DOリスト・単元目標に基づく言語活動				総括のための観点別評価の記録				
		中心領域		単元目標に基づく言語活動 (Goal Activity/Task)	Paper Test		Performance Test			
		CE FR	ID 領域 NO		L	R	I	P	W	
4	2	A2	R	2	コウテイペンギンの生態について書かれた文章を読み、要点や詳細を把握する。	知思態	知思態			
5		A2	P	3	野生動物の絶滅を止めるための解決策を、情報や自分の考えを論理性に注意して、詳しく話して伝える。					知思態
6	1	A2	R	2	海外の視点から見た日本の不思議について書かれた文章を読み、要点や詳細をまとめる。	知思態	知思態			
7		A2	I	3	自分が外国人に紹介したい日本文化についての詳細やその理由を話して伝え合うやり取りを続ける。				知思態	知思態
9	3	A2	R	2	日本が誇れることについて話されている対話から必要な情報を聞き取り、話し手の意図をまとめる。	知思態	知思態			
10		A2	W	3	自分が住む町の問題とその解決策について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えを詳しく書く。					知思態
11	6	B1	R	2	ガウディと外尾悦郎さんについて書かれた文章を読み、必要な情報を聞き取り、要点を捉える。	知思態	知思態			
12		B1	W	3	世界遺産を目的とする旅行計画について、情報や考えなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。				知思態	知思態
1	8	B1	R	2	江戸時代の循環型社会について書かれた文章を読み必要な情報を聞き取り、要点や詳細を把握する。	知思態	知思態			
2		B1	W	3	「持続可能な社会」をめざすには、どのRが最も有効だと思うか、理由をつけて自分の意見を述べる。					知思態

備考	CEFR及びIDについてはCAN-DOリスト (別紙) を参照する。
----	------------------------------------

外国語科 年間指導計画

教科	科目	単位数	学年	集団
外国語	論理・表現Ⅱ	2	2年	

使用教材名	Genius English Logic and Expression Ⅱ（大修館書店）、Genius総合英語(大修館)、Future Globe（桐原書店）、Future Globe 実践ドリル（桐原書店）、スタディサプリ
-------	--

科目の目標	英語学習の特質を踏まえ、話すこと [やり取り]，話すこと [発表]，書くことの三つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、第1款の(1)及び(2)に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、第1款の(3)に示す資質・能力を育成する。
-------	---

評価の観点とその趣旨	
知識・技能	・外国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどの知識を，話すこと，書くことによる実際のコミュニケーションにおいて，目的や場面，状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。
思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，情報を整理しながら考えなどを形成し，日常的な話題や社会的な話題について，英語で話したり書いたりして，その情報や自分自身の考えなどを適切に表現したり伝えあったりしている。
主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め，聞き手，読み手，話し手，書き手に配慮しながら，主体的，自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

指導と評価の計画 (領域：I=Spoken Interaction, P=Spoken Production, W=Writing)

時期	単元	CAN-DOリスト・単元目標に基づく言語活動					総括のための観点別評価の記録		
		中心領域			単元目標に基づく言語活動 (Goal Activity/Task)	Performance Test			
		CE FR	ID 領域	NO		I	P	W	
4・5	Ⅱの5	A2	W	2	環境問題が生き物に与える影響を理解し、その解決策について述べることができる。皇帝ペンギンが置かれている状況を説明し、その原因と解決策をグループでプレゼンテーションする。 〔基本文型、時制、完了形〕		知思態	知思態	
6・7	Ⅱの1	A2	P	2	自分を幸せにするものについて、理由や具体例をあげながらスピーチすることができる。 〔助動詞、受動態〕		知思態		
9・10	Ⅱの4	A2	W	2	日本と外国の特徴を対比しながら説明するパラグラフを書くことができる。 〔不定詞、動名詞〕			知思態	
11・12	Ⅱの3	A2	I P	2	自分自身のことを口頭で伝えたり、相手のことを聞くなどし、会話を続けることができる。 自分自身のこれまでの、成長の過程や変化を交えてパラグラフを書くことができる。 〔分詞、比較、関係詞〕	知思態	知思態		
1・2	Vの3	A2	I W	3	「持続可能な社会」をめざすための、Rにはどんなものがあるか考える。それぞれのメリットやデメリットについて討論し、その中で最も有効だと思うRを選び、理由をつけて自分の意見を述べるすることができる。 AIについて意見を述べるすることができる。 〔様々な節、仮定法、Option〕			知思態	

備考	CEFR及びIDについてはCAN-DOリスト（別紙）を参照する。
----	----------------------------------